

社会福祉法人容雅会 令和元年度事業報告

社会福祉法人容雅会として、令和元年度は「安定した経営基盤の確立」と「高齢者が安心して生活できる環境の提供」に重きを置き運営を行って参りました。

I. 「安定した経営基盤の確立」について

開設から5年目を迎えた施設として「需要」「収益率の維持・向上」「職員の確保」「人材育成」の項目を掲げ、安定した経営基盤の確立を目指して参りました。

まず「需要」に関しては、多職種による広報活動、情報収集を行うことでニーズの把握を考えておりましたが、外部へ向けての積極的な活動の展開ができず、受動的な情報収集に終始してしまいました。規模が小さくても継続して行えるイベントなどを企画し、様々なニーズの把握、活動に繋げられるように次年度へ繋げて参ります。

次に「収益率の維持・向上」については、介護保険収入以外の収入源の確保として宅配食や放課後等デイサービスを検討いたしました。宅配食については、現在の給食事業の安定を優先事項とし、その後の検討と致しました。放課後等デイサービスについては、事業所見学やシミュレーション等も行いましたが、設置場所や職員確保の面で実施までは至りませんでした。

「職員の確保」「人材育成」に関しては、ハローワークからの紹介、人材紹介会社の利用などにより積極的な雇用を進めて参りました。今年度の雇用に関しては入職者12人、退職者19人となりましたが、退職予定者に関しても十分な話し合いなどをもとに、職員の精神的なサポートや離職原因の究明等に努め、安定した職員の確保・事業の継続へ繋がっているものと考えます。今後、施設内外の研修体制や海外人材、子育て世代などの受入れ体制を積極的に整え、安定した働きやすい環境であることをPRして、地域の雇用促進にも寄与したいと考えております。

現在、今後の事業展開として居宅介護支援事業所の内郷地区への展開や企業主導型託児所の受託を進めております。これらの事業がいわき市民の「需要」の把握や更なる当法人への「収益率の向上」に寄与し、また新たな働く場所を創設することにより、志を共にする「職員の確保、育成」へ発展していくことを目標として見据え、更なる今後の課題と致します。

II. 「高齢者が安心して生活できる環境の提供」について

開設から5年目を迎え、平均介護度も3.97から4.07となり、各種医療機関との連携の重要性が高まって参りました。令和元年度は日々の医療の重要性のみならず、1月下旬から2月初旬にかけておきた職員・入居者様等26名のインフルエンザ集団感染、そして新型コロナウイルス感染症対策もあり、これまで以上に入居者様、ご家族様へ安心して生活できる環境の提供に苦慮した一年でもありました。今後も刻一刻と変化する社会情勢等を鑑みながら、ご家族の皆様にも安心を提供できる術を考え、信頼を保ち続けられるように努力して参ります。

また、今年度は地域に住む高齢者向けの関わり事業も新規では創出することができませんでした。しかしながら、継続事業である認知症カフェ（オレンジカフェ以和貴）への参加者数も

年々増加しており、認知度の高まりとともに、高齢者間のつながりの場の提供としても、今後継続の意義を感じられる事業として成果をあげて参りました。

令和2年度への課題としては新しい生活様式に則した事業を検討し、高齢者を取り巻く環境、施設内外への安心感を提供できる施設としての運営を進めて参ります。

※参考資料 1 【研修内容】

開催日	開催時間	出席人数	主催者・講師	主題
平成31年4月1日	9:30-16:00	3人	法人	職業倫理、虐待防止、各種事故防止、個人情報保護について
令和元年7月17日	17:45-18:20	31人	感染褥瘡委員会	胃腸炎と手洗いについて
7月18日	14:15-15:00	43人		
令和元年7月23日	14:15-15:00	44人	感染褥瘡委員会	食中毒と手洗いについて
〃	17:45-18:20	14人		
令和元年8月9日	14:15-15:10	44人	感染褥瘡委員会	褥瘡防止～正しい姿勢について～
〃	17:45-18:40	20人		
令和元年9月20日	17:00-18:10	51人	教育記録委員会 ・理事長	看取りについて
令和元年10月9日	10:00-11:00	38人	教育記録委員会 感染褥瘡委員会	認知症ケア研修受講者から伝達講習 インフルエンザ・ノロウイルス対策
10月16日	14:15-15:15	38人		

※参考資料 2 【オレンジカフェ以和貴参加人数の推移】

令和元年度

開催日	参加人数	内容
平成31年4月19日	12人	「私の思いをつなぐノートの利用について」 公正証書の利用他 居宅CM
令和元年5月17日	9人	「高齢者の交通安全、詐欺被害の防止について」 サニースポーツ小名浜 理事長室室長 佐藤
令和元年6月21日	11人	「歯とお口の健康について」 サニースポーツ小名浜 歯科衛生士 平澤
令和元年7月19日	8人	「お薬と健康食品（サプリメント）の違いについて」 市薬剤師会 田崎秀和様
令和元年8月23日	10人	「認知症の方との関わり方について」居宅CM
令和元年9月20日	13人	「介護保険改正と消費税増税のあらまし」 居宅CM
令和元年10月18日	11人	「シルバーリハビリ体操」 サニースポーツ小名浜 機能訓練指導員 井上

令和元年11月15日	9人	「絵手紙（年賀状）の製作」 清水雪枝様 「冬の健康管理について」 居宅CM
令和元年12月20日	16人	「ラジオ体操」 「回想法 私の思い出」 居宅CM
令和2年1月17日	17人	「ラジオ体操」 「歌会始め 令和2年目標」 居宅CM
令和2年2月21日	11人	「ラジオ体操」 「絵本の読み聞かせ」 居宅CM
令和2年3月	0人	新型コロナウイルス感染症対策にて中止
合計	127人	月平均 11.5人参加（11ヶ月の平均）

※平成30年度4月～3月（12回開催） 合計89人 月平均 7.4人参加

Ⅲ 法人の運営体制

理事・監事体制

理事長 中村 雅英
 理事 有橋正次郎
 理事 齋藤 和夫
 理事 鈴木 智
 理事 吉田 一巳
 理事 中村安佐子（常勤）
 監事 山野邊元則
 監事 木幡 仁一

評議員体制

評議員 赤津 隆彦
 評議員 阿部 健一
 評議員 門屋 博史
 評議員 菊地 秀明
 評議員 小松甚兵衛
 評議員 鈴木 重光
 評議員 村田 裕之

第三者委員会体制

委員 菊地 秀明
 委員 山野邊元則

評議員選任解任委員会体制

委員 中村 秀樹
 委員 山野邊元則
 委員 木幡 仁一
 委員 巽 龍也
 委員 佐藤 孝男

業務顧問

会計顧問 渡辺公認会計士事務所 渡辺 和栄
 労務顧問 あすか社会保険労務士法人 菊地 秀明

IV 法人の事業

特別養護老人ホームサニーポート小名浜

- 1 特別養護老人ホーム事業 80床
- 2 短期入所生活介護事業 20床
- 3 通所介護事業 30名
- 4 居宅介護支援事業 120名
- 5 その他（施設内託児事業）

V 理事会・評議員会の開催

令和元年度における理事会を次のとおり開催致しました。

回	開催日	場 所	内 容
第1回	令和元年6月7日	サニーポート 小名浜	平成30年度実績報告、採用報告、監事監査結果報告、手形の借換について、次期理事・監事(案)の提出について、令和元年度評議員会の開催について
第2回	令和元年6月26日	サニーポート 小名浜	評議員会における理事報酬総額の決定について、理事・監事の就任承諾について、理事長の互選について、いわき信用組合からの借入更新について
第3回	令和元年12月12日	サニーポート 小名浜	上半期の事業報告、懲罰委員会の開催結果について、補正予算について、運営規程の変更について
第4回	令和2年3月26日	サニーポート 小名浜	インフルエンザ・コロナウイルスの対策について、採用報告、事業活動実績報告、補正予算について、次年度予算について、次年度事業計画について、給与規定の変更について、借入金の借換について

令和元年度における評議員会を次のとおり開催いたしました。

開催日	場 所	内 容
令和元年6月24日	サニーポート小名浜	平成30年度稼働実績報告、採用報告、平成30年度事業報告、平成30年度決算報告及び監事監査結果報告、次期理事・監事の選任について、手形の借換について、会計年度終了時の理事報酬総額について、いわき市指導監査について

VI 役職員の研修

令和元年度役員研修については、次のとおり参加しました。

参加役員	参加年月日	研修場所	研修名
理事中村安佐子	令和元年5月29日	ビッグパレットふくしま	老人福祉協議会施設長研修
理事中村安佐子	令和元年7月3日	ビッグパレットふくしま	ここが知りたい社会福祉法人経営
評議員小松甚兵衛	令和元年8月2日	ビッグパレットふくしま	社会福祉法人を取り巻く状況と評議員の役割
理事中村安佐子	令和元年10月29日	郡山ユラックス熱海	令和元年度社会福祉法人理事研修
理事中村安佐子	令和元年12月19日	ビッグパレットふくしま	令和元年度人材確保パワーアップセミナー

VII 各事業別報告

特別養護老人ホームサニーポート小名浜

令和元年度に於きましては、4月・5月・8月の入院による稼働率の低下はありましたが、通年で95.59%と前年より約1.3%の稼働率の増加となりました。

利用者の平均要介護度は、平成30年度の3.97から令和元年度は4.07に上昇し、入居者の重度化が進んできております。

入居者の処遇面に於きましては、昨年に引き続きレクリエーションの充実の推進として、個別に誕生日のお祝いの外出やユニットでの毎週のカラオケ行事の実施等、各ユニットでの充実を図っています。また、手作りおやつや手作業の増加など、栄養科やリハビリテーション等の横断的なレクリエーションを行ったり、各職員が自発的に入居者個別に施設周囲の散歩等の気分転換を実施することによって、一層の充実が図れました。

また、介護職員の教育面としては、介護職員の医療特定行為（喀痰吸引・経鼻経管栄養の処置等）の施設内での研修の実施を昨年からの継続として行いました。

今後の課題としまして、入居者の重度化に伴い医療行為だけでなく看取り期のケアのあり方について研修を行い、施設全体で取り組む必要があると考えます。

令和元年度特別養護老人ホーム稼働率推移

4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期平均	
92.17%	91.61%	94.58%	95.24%	95.44%	98.75%	94.63%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期平均	年間平均
98.75%	96.21%	97.78%	96.69%	94.31%	95.52%	96.54%	95.59%

令和元年度特別養護老人ホーム入居者数実績（人）

上期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護1	1	1	1	1	1	1
要介護2	3	3	2	1	1	1
要介護3	17	18	19	20	20	19
要介護4	28	27	26	25	28	28
要介護5	32	33	32	32	30	31
在籍計	81	82	80	79	80	80
入院：延日数	65	28	80	56	47	6
外泊：延日数	1	1	0	0	1	0

下期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均／月
要介護1	1	1	1	1	1	1	12	1.00
要介護2	1	1	1	1	1	1	17	1.42
要介護3	19	19	19	19	20	17	226	18.83
要介護4	28	28	29	29	30	32	338	28.17
要介護5	31	31	31	29	28	28	368	30.67
在籍計	80	80	81	79	80	79	961	80.08
入院：延日数	0	91	5	46	84	75	583	326.33
外泊：延日数	0	0	0	1	0	0	4	4.08

令和2年3月31日現在入居者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要介護1		1	1
要介護2		1	1
要介護3	4	13	17
要介護4	5	27	32
要介護5	7	21	28
合計	16	63	79

令和2年3月31日現在入居者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要介護1		89.0	89.0
要介護2		85.0	85.0
要介護3	81.3	87.3	85.9

要介護 4	78.8	88.6	87.0
要介護 5	75.0	85.3	82.8
平均	77.8	87.2	85.3

令和 2 年 3 月 3 1 日現在入居者介護度別市町村状況（人）

市町村名	いわき市		浪江町		富岡町		大熊町		小野町		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護 1		1										1
要介護 2		1										1
要介護 3	4	13									4	13
要介護 4	5	27									5	27
要介護 5	7	19				1		1			7	21
小計	16	61				1		1			16	63
合計	77				1		1				79	

短期入所生活介護事業所サニーポート小名浜

令和元年度に於きましては、平均稼働率が前年度に比べて 3.74%上昇し 70.43%でありました。利用者への処遇面の改善や利用促進に向けた啓発等により上期平均 69.94%に対し、下期では 70.93%と 1%の上昇となりました。特に、令和元年秋の豪雨災害におきましては、当法人の居宅介護支援事業所と協力して被災者 3 名の受け入れを行いました。

利用者の登録者数は令和 2 年 3 月 31 日付けで 91 名、要介護 3 の方が 30%を占めています。利用者の処遇面としては、昨年に続き毎日の集団体操の実施、毎月の外出行事や外部からの講師を招いての介護予防体操を行う事で、入所期間中の楽しみの増加を目指して業務の改善を行いました。

また、在宅酸素利用者の受入れや看護との協力のもと、胃瘻や経鼻経管栄養の方の受入を進めました。

今後の課題としましては、利用者の安定的な利用について地域ケアマネージャー等への啓発を行います。更に、地域のニーズとして経鼻経管や在宅酸素療法等の医療重度者への対応が挙げられますので、職員への医療・介護に対する技術や知識の向上を目指していきます。

令和元年度短期入所生活介護事業所稼働率推移

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上期平均	
73.33%	68.06%	66.33%	65.64%	71.45%	74.83%	69.94%	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下期平均	年間平均
79.35%	79.83%	66.77%	71.77%	66.38%	61.45%	70.93%	70.43%

令和元年度短期入所生活介護事業所利用者数実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	1	2	2	1	2	2	2	0	1	0	0	13
要介護1	5	6	6	10	9	10	8	8	5	8	3	4	82
要介護2	12	11	9	12	11	10	12	12	10	9	8	7	123
要介護3	11	10	9	11	12	13	14	12	12	12	11	12	139
要介護4	12	9	11	9	11	8	10	13	9	9	7	6	114
要介護5	4	4	2	2	3	1	1	4	5	5	4	4	39
合計	44	41	39	46	47	44	47	51	41	44	33	33	510

令和2年3月31日現在利用者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要支援2	1	4	5
要介護1	7	11	18
要介護2	4	14	18
要介護3	6	22	28
要介護4	3	10	13
要介護5	3	6	9
合計	24	67	91

令和2年3月31日現在利用者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要支援2	94.0	86.7	88.2
要介護1	82.9	84.7	84.0
要介護2	83.5	85.8	85.3
要介護3	75.8	88.8	86.0
要介護4	81.3	87.5	86.1
要介護5	72.0	83.3	79.6
平均	81.6	86.1	84.9

通所介護事業所サニーポート小名浜

令和元年度に於きましては、平均稼働率は53.7%でありました。前年度の稼働率と比べますと、14.57%の減少となりましたが、平成30年度に定数の変更を行いましたので、平均利用者数で比較しますと、平成30年度13.65人に対して令和元年度では16.11人と2.46名の増加となっています。

利用者の登録者数は令和2年3月31日付けで51名であります。

利用者の処遇面として、毎日の集団体操の実施の強化、施設外での喫茶の実施、手作りおやつ
の作成等を行いました。

今後の課題としましては、利用率の増加を目指す為にレクリエーションや機能訓練等の見直し
が必要であると考えます。軽度利用者から重度利用者までが安心して利用できるサービス体
制を構築いたします。

令和元年度通所介護事業所稼働率推移

4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期平均
56.2%	55.2%	55.5%	54.2%	52.6%	53.3%	54.5%
10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期平均 年間平均
57.4%	57.3%	57.4%	49.3%	50.5%	45.0%	52.8% 53.7%

令和元年度通所介護事業所利用者数実績

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
要支援1	1	5	1	4	1	4	1	5	1	3	1	4
要支援2	4	27	4	32	4	28	4	21	4	19	4	22
要介護1	12	98	11	90	11	83	12	93	13	97	12	68
要介護2	15	128	14	126	15	132	15	133	16	152	15	137
要介護3	8	93	9	111	7	86	8	104	7	72	9	96
要介護4	7	53	7	53	6	62	6	57	7	58	7	63
要介護5	4	34	4	31	3	21	3	26	4	25	3	10
合計	51	438	50	447	47	416	49	439	52	426	51	400

	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計 延人数
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
要支援1	1	4							1	4	1	5	38
要支援2	4	19	5	26	5	29	5	24	4	18	4	21	286
要介護1	12	76	13	87	13	92	13	79	13	96	15	94	1053
要介護2	16	162	15	138	17	154	14	112	12	96	10	69	1539
要介護3	10	121	10	112	9	87	10	94	11	121	10	107	1204
要介護4	7	62	8	65	7	57	6	33	5	31	4	33	627
要介護5	3	21	4	19	4	29	4	13	4	13	3	22	264
合計	53	465	55	447	55	448	52	355	50	379	47	351	5011

令和2年3月31日現在利用者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要支援1	1		1
要支援2		4	4
要介護1	3	12	15
要介護2	2	9	11
要介護3	2	9	11
要介護4	0	5	5
要介護5	2	2	4
合計	10	41	51

令和2年3月31日現在利用者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要支援1	60.0		60.0
要支援2		89.0	89.0
要介護1	89.3	85.9	86.6
要介護2	88.0	90.0	89.6
要介護3	82.5	87.8	86.8
要介護4		86.0	86.0
要介護5	68.5	81.0	74.8
平均	80.6	87.3	86.0

居宅介護支援事業所サニーポート小名浜

令和元年度に於きましては、年間平均で、前年度より7名増の130.58人の給付管理を行い、契約者数においても、前年度よりも10名増加し、143名となりました。

平成31年4月より介護支援専門員を従来の4名体制から1名増員の5名体制として、福祉ニーズ・医療的ケアの区別なく、幅広く受け入れる体制を構築することが出来ました。

それに伴い主任ケアマネージャー3名体制となり、各地域包括支援センターとの連携の中、スムーズな利用の開始と安定したサービスの提供につなげました。

今後の課題と致しまして、現在各介護支援専門員の受け持ち件数が約30件前後であり、更なる受け持ち件数の増加が必要となります。そのために、地域に信頼していただけるサービスの提供を行い、地域包括センターとの連携等、基本的な業務についての把握や見直しを行う必要があると考えます。

令和元年度居宅介護支援事業所利用者数実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付管理利用者数	89	89	90	90	95	91
予防給付管理利用者数	39	38	39	39	33	35
合計	128	127	129	129	128	126
契約者数	138	137	138	135	151	136

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理利用者数	101	90	100	103	98	100	1136
予防給付管理利用者数	36	35	35	34	33	35	431
合計	137	125	135	137	131	135	1567
契約者数	139	142	142	141	141	143	1683

公益的な取り組みについて

令和元年度に於きましては、実践4年目の地域高齢者の孤立と介護予防を目的としたシルバーリハビリ体操への会場無償提供、実践5年目の地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン事業としての認知症カフェ事業及び地域の相談窓口の設置等を実施致しました。

特にシルバーリハビリ体操では、地域の高齢者の更なる交流を目的として、体操終了後の食事会を実施され、その際の食事の提供や認知症に関する情報提供など、ハード面だけではなくソフト面においても地域の民生委員との協力体制を構築することが出来ました。

VIII 職員の推移

職員の確保に於きましては、ハローワーク小名浜や福島県社会福祉協議会及び福祉系の専門学校、大学に求人票の提出をするとともに、福島県社会福祉協議会主催の就職フェア、職場合同就職説明会及び福島県労働局、いわき市主催の集団就職面接会等に積極的に参加するなどして求人活動を行いました。新卒者の採用につきましては、いわき市内の各高等学校を訪問し、県外の大学、専門学校へは、求人票を送付するなどして活動しましたが生徒、学生の応募者がおらず採用に至りませんでした。開設時の平成27年4月から一昨年度まで大学卒5名、専門学校卒3名、高卒9名の合計18名の採用がありましたが、本年3月までに7名の職員が退職しております。これらの状況から次年度新卒の採用予定者を高卒2名、専門学校卒・大卒で1名と致しました。

各部署配置人員（全職員名）

管理職	事務	相談	居宅介護	機能訓練	看護	託児	栄養
3	3	4	5	3	10 (4)	4 (2)	1
用務運転	渚（短期）	潮（特養）	湊（特養）	旭（特養）	岬（特養）	通所	歯科衛生
7 (7)	12 (4)	11 (4)	12 (3)	11 (4)	12 (6)	9 (6)	1

※数字は総人員（ ）内数はパート数

各部署離職率

管理職	事務	相談	居宅介護	機能訓練	看護	託児	栄養
0	0	0	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)
用務運転	渚（短期）	潮（特養）	湊（特養）	旭（特養）	岬（特養）	通所	歯科衛生
1 (0.9%)	2 (1.8%)	3 (2.7%)	4 (3.6%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	0	1 (0.9%)

※数字は、離職者数（％）は、全体に対する離職率

※1人に対して0.9%（離職率17.1%÷離職者数19人）

全体離職率

年度末職員数	108名
離職者数	19名
離職率	17.5%

全体職員の推移

	採用者数	離職者数	年度末在職者数	離職率
平成27年度	52	27	101	26.7%
平成28年度	29	26	104	25.0%
平成29年度	27	21	110	19.0%
平成30年度	18	20	108	18.5%
令和元年度	12	19	108	17.5%